

- ① ... SFAフットボールセンター、開所！
第4種リーグ、開幕～「Treasure League 第13回埼玉県第4種サッカーリーグ戦」～
- ② ... 素晴らしいスポーツの原点を、ここから。 横山 謙三 SFA前会長
- ③ ... 素晴らしいスポーツの原点を、ここから。 (続き)
- ④ ... 第3回埼玉フットボールカンファレンス開催 SFA技術委員長 福田 直史

- ⑤ ... 大会記録●県内大会 1種・2種
- ⑥ ... 大会記録●県内大会 3種 大会記録●県外大会 2種・4種
- ⑦ ... 大会記録●県外大会 4種・女子
- ⑧ ... 大会記録●県外大会 女子・フットサル インフォメーション 編集後記

●発行/(公財)埼玉県サッカー協会 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和1-21-18 雁ヶ音ビル204号室 Tel 048-834-2002・Fax 048-834-2004 <http://www.saitamafa.or.jp/>

SFAフットボールセンター、開所！

3月2日、晴天の下で「SFAフットボールセンター」の開設記念式典を行いました。加須市にある旧埼玉県立騎西高校を埼玉県からお借りし、ゴムチップの無い人工芝2面とフットサルでも利用できる体育館を含めた諸室を整えました。ここから世界に繋がるトップレベルの選手、指導者、そして審判が多く輩出されることを願っています。

さて式典では、大橋良一加須市長をはじめ、多くの皆様にご参列していただきました。またこの校舎を東日本大震災の避難所として利用していた福島県双葉町から「標葉(しねは) せんだん太鼓保存会」の皆さんにも駆けつけていただき、勇壮な太鼓で祝っていただきました。ありがとうございました。



ご来賓の皆さまとテープカット



鈴木会長



標葉せんだん太鼓保存会の皆さん



2面のピッチがオープン

第4種リーグ、開幕～「Treasure League 第13回埼玉県第4種サッカーリーグ戦」～

今年も4月14日から「Treasure League 第13回埼玉県第4種サッカーリーグ戦」が開幕し、秋まで県内各地において熱戦が繰り広げられます。

今年の参加チームは449。それぞれ8～10チームが東西南北の52ブロックに分かれて、ホーム＆アウェイの2回戦総当たりで戦います。

結果も大事ですが、ぜひ子供たちの「成長」にご声援ください。

そしてリーグ戦を通して、フェアプレー精神を身に着けられるよう、指導者の皆さんは「お手本」になってください。



素晴らしいスポーツの原点を、ここから。

横山 謙三 SFA前会長

今春、SFA フットボールセンターが開所の運びとなりました。思い起こせば、47FAの中で、いち早く専用グラウンドを持つことができたものの、継続借用ができずにメンバーの皆さんにはご迷惑をおかけしてきました。それだけに、専用グラウンドを持つことは悲願でもありました。この道筋を立てて、昨年5月に退任された横山前会長に、改めてSFAフットボールセンターへ込められた「想い」を伺いました。(構成・広報委員／荒川裕治)

スポーツモラル向上の発信拠点として

この3月、旧騎西高校をお借りして、SFAフットボールセンターを開所できたことを大変喜んでます。

はじめにお話しなければならないのは、(公財)埼玉県サッカー協会が2017年以来、「試合中 文句を言わない!」という行動規範を掲げ、「スポーツモラル」向上を大々的に実践していることです。「スポーツモラル」とは、ルールやマナー・エチケットを守る“フェアプレー精神”、そしてチームメイトや相手を敬う“スポーツマンシップ”、この2つを根幹としています。「スポーツモラル」の向上は実践していただければ必ず成果が現れます。

そもそもサッカーというのは、プレーする人が「サッカーそのもの」なのです。それが、ワールドカップを筆頭にサッカーが興業となり、「観客」と共に成長するようになりました。これにより、プロ選手はお金と名声を得ることができるようになり、ビジネスとして利用価値があることもスポーツの側面として認識されています。しかしそれでは、スポーツの本質を理解されないままではないでしょうか。私は、まずはプレーする人が集まって、楽しむことが大事だと考えています。その楽しむ姿を見て、一般の人、観客となる人たちが「いいな」と思ってくれることが、スポーツの原点だと思います。今一度この原点に立ち返り、スポーツモラルの向上を図るためには、どうしてもSFAフットボールセンターが必要だったのです。

“本物”の指導者がいる場に

プロになった選手たちにスポーツモラルを教えるとしても手遅れです。やはり育成年代に育てなければ、身につくものではありません。このSFAフットボールセンターは、そのためにつくった練習用のグラウンドです。練習ですからお客さんに見てもらふ必要性はありません。選手や指導者の皆さんがグラウンドの中でじっくりサッカーを楽しみ、学んでほしいというのが、本当の願いなのです。

ただ、そのためには“本物”の指導者が必要です。チームの監督が「こうしよう」と言っているのに、子供たちが「でも、うちのお父さんが」と違うことを言い出して、チームそのものがおかしくなったという話をまだ聞きます。どんなに実績がある選手、指導者でも、自分の子供を一度チームに預けたら、口を挟まないのがモラルです。逆に言えば、そういう実績のある人たちから「本物の指導者は違うね」と言ってもらえるように、SFAは努力しなければならないのです。そういう“本物”の指導者を、SFAフットボールセンターで育成してほしいと願っています。

専務理事時代から昨年まで私が求めてきたことは、人づくりです。これは継続していかなければなりません。正直、上手くないことも多いのですが、すべてにおいて、諦めるのが一番の罪だと思っています。

SFAフットボールセンター

彩の国KAZOヴィレッジ



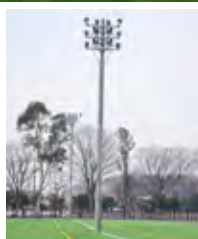
人工芝グラウンド2面



グラウンド横アップスペース



ゴムチップのない最新の人工芝



夜間照明完備



300台収容可能な駐車場

求められるレフェリーの重要性

長らく「SFAはフェアプレー日本一を目指します」とフェアプレーを推進してきましたが、なかなか進歩がない中、冒頭に申し上げた「試合中 文句を言わない!」を提示しました。Jリーグもプレーのリスタートを早くするよう促していますが、やはりできていません。プレーが途切れるたびにレフェリーに文句を言っています。それがJリーグ26年目となったプロの姿なのでしょうか。

しかしながら「ヨーロッパでやっているから」「南米でやっているから」と海外で行われていること—それこそ、選手がレフェリーに文句を言うのを正しいと思っている人が多いのが実情です。それは本当なののでしょうか? 本来のスポーツの概念から見たらおかしいことです。だから日本から、埼玉から「あれは違っているんだ」と、発信していかななくてはならないのです。

人づくりの観点で言えば選手・指導者のみならず、レフェリーを忘れてはなりません。スポーツを成り立たせるためには、レフェリーが本当に重要です。レフェリー次第で、ゲームが変わってしまうのですから。しかし残念ながらJリーグや、世界のサッカーでも、規則を犯している選手をレフェリーが許してしまっているのが実情です。

ボールを上手く蹴ることができない、または止めることができない選手と、しっかりと笛を吹けないレフェリー、どちらに問題があるのでしょうか。私は笛を吹けないレフェリーの方が問題だと思っています。選手はゲームに入ってしまうと自分をコントロールするのが難しいもの。だから、レフェリーがコントロールしなければならぬのです。

フェアプレー精神とスポーツマンシップ

スポーツモラルを向上させるためにはまず、フェアプレー精神を理解していなければなりません。ルールやマナーを守ること…それは社会生活を営む上でも試合でも、根幹となるものです。試合では自らを律し、常にフェアに戦う姿が観る人を感動させます。そして相手がいてくれるから、サッカーというスポーツが成り立っていることを忘れてはなりません。相手を敬うスポーツマンシップがあれば、フェアプレーは当たり前になります。ゲームの中でフェアプレー精神とスポーツマンシップを忘れてしまったなら、それはもうスポーツとは呼べません。

スポーツが社会の縮図となっている今、スポーツができる社会貢献とは一体何でしょうか。それはスポーツを通して、世の中を、社会をよりよくしていくことだと私は信じています。サッカーでは90分間、ただひたすらに選手たちがボールを追う姿は感動的ですらあります。しかし、何度も言いますが、1回1回プレーが

止まる毎に選手が、ベンチが、レフェリーに対して文句を言うゲームが感動的でしょうか?

私は、このSFAフットボールセンターから「試合中 文句を言わない!」選手と指導者を、そして感動的なゲームをコントロールするレフェリーを育ててほしいと願っています。

サッカーをプレーする人たちのために

振り返ると、東松山にあったSFA専用グラウンド(リコー研修センターグラウンド)がなくなったのは、非常に残念でした。メンバーの皆さんが有効に使ってくださっていただけに、SFAとしてグラウンドを持つことは急務と感じていました。そんなとき、ある席上で、上田清司埼玉県知事に直接陳情する機会があり、要望をお伝えしました。そこで県から「旧騎西高校を」というご提案があり、スタートしたのでした。

もともと体育科があった高校のため、校庭も体育館も他の高校よりも広く、大人用のサッカーグラウンドが2面取れるということで、交渉に入りました。せっかくお借りするのであればできるだけ長期間お借りしたいと考え、契約そのものについて、慎重に行ったために開所に時間がかかってしまいました。結果、JFAから補助金をいただき、グラウンドはゴムチップを使用しない最新の人工芝となり、埼玉県のご配慮から体育館など諸室を利用できるようにしていただきました。

このSFAフットボールセンター開所にあたり、多大なるご理解とご協力を賜りました加須市の関係皆様にあらためて御礼申し上げます。開所の折に本来でしたらご挨拶申し上げなければならぬところ、失礼いたしました。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

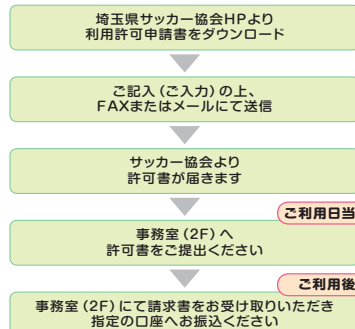
さて、このSFAフットボールセンターはサッカーのグラウンドではありますが、競技場ではなく練習場というイメージでつくりました。それはできるだけ多くの人に利用していただき、サッカーを楽しんでほしいという願いからです。車300台も置ける駐車場を用意しました。またサッカーグラウンドが2面ある強味として、ときには隣で借りたチーム同士で練習試合を行うこともできるでしょう。県内各カテゴリーの選手の皆さんが切磋琢磨できる環境になれば幸いです。とにかく、私としてはサッカーをプレーする人たちのための練習場をつくりたかったのです。

普及、育成、強化はもとより、スポーツモラルの向上は難しいテーマかもしれません。しかし、諦めてしまうことは罪です。続けていくことが大切。ここSFAフットボールセンターから社会を、世界を変えていってください。埼玉のサッカーに関わるすべての皆さんに期待しています。



ご利用ガイド

ご利用には、事前の利用許可申請書の提出が必要です。



詳細は SFA ホームページ「SFAフットボールセンター利用申込」をご覧ください。



第3回埼玉フットボールカンファレンス開催 ～最新の情報伝達の間として・指導者の振り返りの場として

SFA 技術委員長 福田 直史(栗橋北彩高校)

技術委員会では、以前小林武氏が技術委員長の際にトレセン総会も含め、県内指導者を東松山に集めて実施したのが第1回目のフットボールカンファレンスになります。私が3年前に技術委員長になったタイミングで、リフレッシュ研修会も兼ねて継続して実施したいと考え、2年毎に開催することにしました。(オリンピックやワールドカップのTSGがレポートをまとめる時期と考えると、隔年で3月頃になります)

2017年は春日部高校で約300人を集めて田嶋幸三氏(JFA会長)、村井満氏(Jリーグチェアマン)、城福浩氏(JFA技術委員(当時。現、サンフレッチェ広島監督)、今井純子氏(JFA女子委員長)、菊原伸郎氏(埼玉大学准教授)などから挨拶・講演をいただき、各種別技術委員長報告もさせていただきました。

本年度は3月21日(木)に羽生市サッカー協会の協力を得て羽生市産業文化ホールをお借りし、第3回の埼玉フットボールカンファレンスを実施しました。種別技術委員長及び県内インストラクター及び羽生市サッカー協会の方々に役員としてご協力をいただき、無事に開催することができました。約500人の指導者が集まり貴重な情報を共有できました。各講演についても多数の参加者の方から非常に高評価をいただきました。運営についてはいろいろなお指摘も頂戴しましたので、今後のために役立てていくことをお約束いたします。県内指導者がC級・D級で6,000人を超える状況になっていることを考えると、今後も大ホール中心の開催企画を進めていかねばならないと考えています。

次回は2021年3月の予定です。オリンピック分析やJアカデミーの内容、各種別の報告なども資料も含めて加えていけたらと考えています。指導者の方はぜひ、カンファレンスに参加してください。

第3回埼玉フットボールカンファレンス

2019年3月21日(木)

■田嶋 幸三(JFA会長) ※川俣氏代理講演

■鈴木 茂(SFA会長) ※ビデオレター

昨年会長に就任しました鈴木です。埼玉県の指導者の皆様、ぜひ頑張ってください。できる限りのバックアップをさせていただきます。皆様と一緒に埼玉サッカーを向上させていきたいと思っています。埼玉フットボールセンターが3月にスタートしました。皆様にもぜひ活用いただけますよう、よろしくお願いいたします。

■村井 満(Jリーグチェアマン) ※ビデオレター

サッカー王国・埼玉の影響力はとても大きく、指導者の皆様にはぜひ良い選手の育成をお願いします。J1では本年度外国籍選手の人数を撤廃し、アカデミー選手の登録を義務付けました。世界のサッカー市場はまだ途上国です。Jリーグ、そして人を育てていきましょう。

代表選手も若返りました。その中でJ3での出場機会を生かした選手もいました。ワールドカップを優勝したフランスも大半の代表選手は他国で切磋琢磨して戦っています。Jリーグも外国籍選手とポジション競争でも切磋琢磨して戦い、チーム及び個人のレベルアップを図り、育成でも良い選手を数多く輩出して欲しいと思います。



「心技体」と言いますが、プロ選手にそこは大差ありません。プロで成功している選手は特に「傾聴力・主張力」の高い選手が多いようです。理不尽の中でのスポーツがサッカーです。いろいろなことが起こるのがサッカーです。長友・川島・長谷部・吉田・原口がなぜヨーロッパで成功しているのかも、今後検証していきたいと思っています。

ティーチングとコーチングの違いが指導者養成でも伝えられていますが、ヨーロッパではディスカバリー(自分で考え発見する)とオーナーシップ(選手の欲しているトレーニングは?)で選手を育てるそうです。ぜひ埼玉県からも良い指導者・選手が数多く輩出されることを期待します。

■川俣 則幸(JFA指導者養成サブダイレクター)

「JFAの指導指針」

JFAの理念をプレゼンさせていただきました。代表強化、選手育成、指導者養成、普及の強化策、それらの結果でベスト16でした。今後、27歳～28歳でワールドカップを戦える環境を作っていきたい。ヨーロッパでの経験値に3年くらいの上積みが必要で、経験値を1サイクル早めていきたい。そのためにゲーム環境の整備とグラウンドデザインに基づくサッカーカレンダーの再構築が必要になります。

ワールドカップではこれまでよりもハイスピード、ハイプレッシャーの中で高いレベルの試合が繰り広げられました。戦術的多様性を備え、状況に応じた対応力の高いチームが勝ち上がっているのです。

■黛 俊行(JFA審判インストラクター)

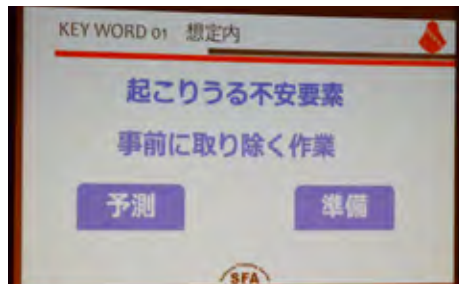
「技術と審判の協調」

JFAで取り組んでいる技術と審判の協調を審判委員会からの視点でお話をいただき、ともに協力して選手の育成につなげていくことを強調されました。ハンドリングの映像からは判断基準の難しさを解説され、受講者の共感を得ていました。

■高橋 正紀(岐阜経済大学准教授)

「スポーツマンの心から考える」

生きがい感と自尊感情を、グッドルーザー体験の話から導き出しました。スポーツする際の心構えとして、ミスは過去のことであり、未来は変わらない。「これはゲームだ」ということを理解しなくてはならない。そして、厳しさや困難の中でも楽しみ続けるために必要なことを挙げていただきました。



- 1 自分を大切に、磨くこと自己決定すること。(挑戦する・あきらめない・逃げない)
- 2 仲間のため、仲間の自分も大切。(結局自分に返ってくる)
「俺がなるって決めたんだから、そのために戦って死ぬんなら別にいい」：ワンピースより
- 3 ゲームのために何が必要かを考える。(楽しみたいからリーグ戦になる)

審判とは自分の心が試されていること。「自分の磨き時だ」と思いなさい。

■矢野 隼人 (NTC 関東担当)

「ロシアワールドカップテクニカルレポート」

※ JFA テクニカルニュース参照

■今井 純子 (JFA 女子委員長)

「女子選手の育成について (2022 国体少年女子開設)」

ワールドカップ・オリンピック・U-20ワールドカップを優勝した初めての国、日本ですが、一時期よりも人気なくなってきました。世代交代もしていかななくては行けない中、女子の選手数が3種年代になると落ち込む状況の改善策として、懸案事項になっていた国体少年女子U-16の準備を進めています。2022年

栃木国体スタートに向けて、各県の女子U-12からU-16トレセンの整備が必要になります。また各県で、障がい者サッカーの普及もお願いいたします。

■大野 恭平 (国体少年男子監督)

「福井国体優勝報告」

国体少年男子を17年ぶりに優勝させた「チーム大野」。U-13トレセンから関わり続け、自分自身の経験も活かしながら国体スタッフ10名を編成しました。3月の埼玉国際サッカーフェスティバルからチームを立ち上げ、U-16関東トレセンリーグ・5月遠征試合・9月直前合宿を重ねて強化し、優勝まで上り詰めた経緯を話していただきました。

3月に加須市騎西にSFAフットボールセンターが開所し、年間を通して指導者養成を実施できるようになりました。埼玉県は全国2番目の登録者数を抱えています。しかしさらに指導者を養成し、増やしていかなければなりません。指導者の皆様もぜひ指導者資格を取得してください。そして日々学び続けて指導のレベルアップを図り、未来ある選手たちの育成に関わってください。皆様のリレーションで良い選手を育てていきましょう。

大会記録 ● 県内大会

1 種

平成31年度彩の国カップ埼玉県サッカー選手権大会
埼玉県社会人連盟会長杯

●決勝トーナメント

1月13日～3月3日 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場他

さいたまSC	0	4	2	5	4	2	TIU
Cap鴻巣FC	1	2	4	2	2	2	AventuraKawaguchi
バイオニア川越	1	2	0	0	0	0	越谷FC
クマガヤSC	1	2	2	4	3	0	ドリームス
大成シティFC坂戸	2	1	2	2	2	2	与野蹴魂会
東京国際大学happiness	1	4	2	0	2	0	FC加須
さいたま市役所	1	2	2	0	0	0	狭山ゼイリア
ACアルマレッザ入間	3	1	1	9	1	9	東京国際大学FC

※優勝は東京国際大学FC。東京国際大学FC、大成シティFC坂戸、TIUは彩の国カップに出場する



決勝 東京国際大FC vs 大成シティ



3位決定戦 TIU vs Cap鴻巣

2019年度彩の国カップ第24回埼玉県サッカー選手権大会【大学予選】

3月3日～3月17日 平成国際大学グラウンド他

平成国際大学	3	1	2	3	2	城西大学
文教大学	2	0	1	0	1	埼玉工業大学
駿河台大学	1	18	17	1	1	尚美学園大学
芝浦工業大学	1	1	1	2	2	獨協大学体育會
埼玉大学	10	1	1	1	1	東洋大学川越
				8	1	共栄大学

※平成国際大学と城西大学が彩の国カップに出場する

2 種・高体連

平成30年度県民総合体育大会 兼 高校サッカー新人大会

2月9日～17日 川口市青木町公園陸上競技場他

浦和南	1	1	0	1	1	成徳深谷
花咲徳栄	0	3	0	3	0	国際学院
正智深谷	5	2	0	0	0	市立浦和
大宮南	0	0	0	1	1	西武台
本庄第一	1	5	3	0	0	春日部
武南	1	3	1	0	9	西武文理
聖望学園	2	1	2	0	0	熊谷工業
浦和東	0	2	6	9	7	昌平

※優勝は昌平(2年振り4回目)。



決勝 昌平 vs 正智深谷

3 種

第21回埼玉県ユース(U-13)サッカー選手権大会

1月27日～3月2日 さいたま市秋葉の森総合公園サッカー場他

1FC川越水上公園	5	1	8	GRANDE FC
さいたま市立大谷場中	1	0	3	上里町立上里中
クマガヤSC	7	0	2	坂戸ディプロマッツ
上尾市立上平中	0	1	1	入間市立向原中
A.C.アスミ	2	0	2	FC LAVIDA
富士見市立勝瀬中	1	0	0	越谷市立北陽中
浦和レッズJr.ユース	3	1	0	幸手市立西中
さいたま市立南浦和中	0	0	1	FC Gois U-15
			6	大宮アルディージャJr.ユース

※優勝は浦和レッズジュニアユース

大会記録 ● 県外大会

2 種

2018年度関東トレセンリーグU-16

●全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失点差
1	神奈川	16	5	1	1	13
2	山梨	14	4	2	1	8
3	埼玉	10	3	1	3	-3
4	茨城	9	2	3	2	0
5	東京	9	3	0	4	-5
6	栃木	8	2	2	3	-1
7	群馬	7	2	1	4	-4
8	千葉	6	2	0	5	-8

埼玉国際サッカーフェスティバル2019

3月16日、17日 浦和駒場スタジアム他

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失点差
1	大宮アルディージャU-16	5	1	2	0	1
2	パリ・サンジェルマン	4	1	1	1	0
2	天安第一高等学校	4	1	1	1	0
4	埼玉県選抜	2	0	2	1	-1

※優勝は大宮アルディージャU-16

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失点差
1	浦和レッズレディースユース	9	3	0	0	11
2	埼玉県選抜	6	2	0	1	-2
3	醒吾高級中学	3	1	0	2	-3
4	タイU18女子代表	0	0	0	3	-8

※優勝は浦和レッズレディースユース



埼玉県選抜 vs パリ・サンジェルマン



埼玉県選抜 vs 醒吾高校

4 種

第29回関東選抜少年サッカー大会

3月2日、3日 ひたちなか市総合運動公園

●予選リーグ

順位	A組	勝点	勝	分	負	得失点差
1	宮城県選抜	6	2	0	1	0
2	埼玉県TC選抜	6	2	0	1	-1
3	山梨県選抜G	4	1	1	1	5
4	群馬選抜	1	0	1	2	-4

順位	D組	勝点	勝	分	負	得失点差
1	埼玉県選抜	7	2	1	0	12
2	栃木トレセングリーン	6	2	0	1	-5
3	JFAトレセン青森U-12	4	1	1	1	1
4	群馬県TC	0	0	0	3	-8

●決勝リーグ

順位	3組	勝点	勝	分	負	得失点差
1	埼玉県TC選抜	6	2	0	0	9
2	東京都U-12選抜ホワイト	3	1	0	1	2
3	岩手県選抜	0	0	0	2	-11

順位	4組	勝点	勝	分	負	得失点差
1	埼玉県選抜	4	1	1	0	4
2	千葉県トレセンU-12ブルー	4	1	1	0	1
3	JFAトレセン茨城U-12ブルー	0	0	0	2	-5

●決勝トーナメント

準決勝 埼玉県TC選抜 2 - 1 埼玉県選抜
決勝 JFAトレセン茨城U-12ホワイト 2 - 0 埼玉県TC選抜
※優勝はJFAトレセン茨城 U-12 ホワイト



埼玉 TC 選抜



埼玉県選抜

ダノンネーションズカップ 2019 in JAPAN

3月23日、24日 駒沢オリンピック公園総合運動場

【男子】

●予選リーグ

グループA	江南南サッカー少年団	0-0	高槻南AFC
	江南南サッカー少年団	1-0	柏レイソルU-12
	江南南サッカー少年団	3-0	LSAFC

※江南南サッカー少年団はグループ1位

グループC	ヴァンフォーレ甲府U-12	2-0	新座片山フォルティシモ少年団
	新座片山フォルティシモ少年団	5-1	イーストールFC
	新座片山フォルティシモ少年団	2-0	ドリームキッズSC

※新座片山フォルティシモ少年団はグループ1位

グループF	BUDDY・FC	0-0	大宮アルディージャジュニア
	あざみ野FC	1-0	大宮アルディージャジュニア
	栃木SCジュニア	2-0	大宮アルディージャジュニア

※大宮アルディージャジュニアはグループ4位

グループG	レジスタFC	3-1	オオタFC
	レジスタFC	0-1	川崎フロンターレU-12
	レジスタFC	1-0	リベロ津軽U-12

※レジスタFCはグループ2位

グループH	浦和レッズジュニア	1-0	なかまちFC
	大阪市ジュネッスFC	0-3	浦和レッズジュニア
	鹿島アントラーズジュニア	0-2	浦和レッズジュニア

※浦和レッズジュニアはグループ1位

●決勝トーナメント

1回戦	江南南サッカー少年団	0-0	鹿島アントラーズジュニア
	(5PK6)		
	新座片山フォルティシモ少年団	0-0	BUDDY・FC
	(0PK2)		
	浦和レッズジュニア	1-1	高槻南AFC
	(4PK3)		
	レジスタFC	0-1	横浜F・マリノスプライマリー

準々決勝 浦和レッズジュニア 2-0 横浜F・マリノスプライマリー

準決勝 清水エスパルスU-12 清水 4-1 浦和レッズジュニア

※優勝したヴァンフォーレ甲府U-12は世界大会に出場

※優勝したヴァンフォーレ甲府U-12は世界大会に出場

【女子】

●予選リーグ

グループA	戸木南ボンバーズFC	0-0	新林レディース
	Piscarisa堺レディースFC	0-4	戸木南ボンバーズFC
	千葉中央FC U-12 ガールズ	0-0	戸木南ボンバーズFC
	戸木南ボンバーズFC	2-2	東加平キッカーズ女子

※戸木南ボンバーズFCはグループ3位

※優勝した千葉中央FC U-12 ガールズは世界大会に出場

キャノン ガールズ・エイト

第16回JFA関東ガールズ・エイト(U-12)サッカー大会

2月23日、24日 ひたちなか市総合運動公園

●予選リーグ

A組	SAITAMA PEARL	1-12	神奈川県TC U12 バンデ
	SAITAMA PEARL	4-0	千葉県トレセンU12 ネイビー
	SAITAMA PEARL	1-2	東京都選抜 YURI

※SAITAMA PEARLはA組3位

C組	SAITAMA DIAMOND	0-7	東京都選抜 SUMIRE
	SAITAMA DIAMOND	1-3	千葉県トレセンU12 イエロー
	SAITAMA DIAMOND	2-3	神奈川県TC U12 リヤン

※SAITAMA DIAMONDはC組4位

D組	SAITAMA GARNET	3-0	神奈川県TC U12 ラソ
	SAITAMA GARNET	4-1	東京都選抜 HIMAWARI
	SAITAMA GARNET	5-1	千葉県トレセンU12 ピンク

※SAITAMA GARNETはD組1位

E組	SAITAMA TURQUOISE	0-6	群馬県トレセン レッド
	SAITAMA TURQUOISE	1-1	茨城 Tiara
	SAITAMA TURQUOISE	0-0	神奈川県TC U12 レガメ

※SAITAMA TURQUOISEはE組4位

●決勝リーグ

2組	SAITAMA GARNET	1-0	東京都選抜 SAKURA
	SAITAMA GARNET	2-1	東京都選抜 KAEDE

●決勝トーナメント

準決勝 神奈川県TC U12 バンデ 2-0 SAITAMA GARNET

※優勝は神奈川県TC U12 バンデ



SAITAMA GARNET

JA 全農杯 全国小学生選抜サッカー IN 関東

3月16日、17日 大和ゆりの森大規模多目的広場他

●予選リーグ

順位	Bパート	勝点	勝	分	負	得失点差
1	レジスタFC	9	3	0	0	8
2	ヴァンフォーレ甲府U-12	6	2	0	1	8
3	FC85オールスターズ	3	1	0	2	-7
4	PALAI STRA U-12	0	0	0	3	-9

順位	Dパート	勝点	勝	分	負	得失点差
1	JFC FUTURO	7	2	1	0	7
2	FCアビリス	7	2	1	0	3
3	栃木SCジュニア	3	1	0	0	-2
4	フォルトゥナ U-12	0	0	0	3	-8

●決勝トーナメント

準々決勝 柏レイソル 2-1 FCアビリス

鹿島アントラーズ 1-0 レジスタFC

※優勝は鹿島アントラーズ

女子

JFA第30回全日本O-30女子サッカー大会

3月16日~18日 時之栖スポーツセンター裾野グラウンド他

●予選リーグ

グループD	UILANI FC	2-0	高知ユニテッドSCレディース
	UILANI FC	2-0	刈谷FCプロジェクト ソニア
	UILANI FC	7-0	室蘭アイスパース

●決勝トーナメント

準決勝 広島FCレディース 1-5 UILANI FC

決勝 Legame 0-1 UILANI FC

※優勝はUILANI FC(2年ぶり3度目)

選抜高校女子サッカー大会「めめまカップ」in 熊谷

3月25日～29日 利根川総合運動公園サッカー場他

●予選1位トーナメント

1回戦 本庄第一 2 - 1 常盤木学園

準決勝 本庄第一 0 - 5 日ノ本学園

3、4位決定戦 常葉橘 3 - 0 本庄第一

※本庄第一は4位。優勝は十文字学園。以下9位花咲徳栄、26位南稜、27位久喜、34位熊谷女子、36位山村学園、48位埼玉栄

フットサル

日本トリム Presents 第11回全国女子選抜フットサル大会

3月15日～17日

●予選リーグ

Cグループ

埼玉県選抜 4 - 1 佐賀県選抜

愛知県選抜 0 - 4 埼玉県選抜

宮城県選抜 2 - 4 埼玉県選抜

※埼玉県選抜はグループ1位

●決勝ラウンド

準決勝

兵庫県選抜 7 - 2 埼玉県選抜

※優勝は兵庫県選

インフォメーション

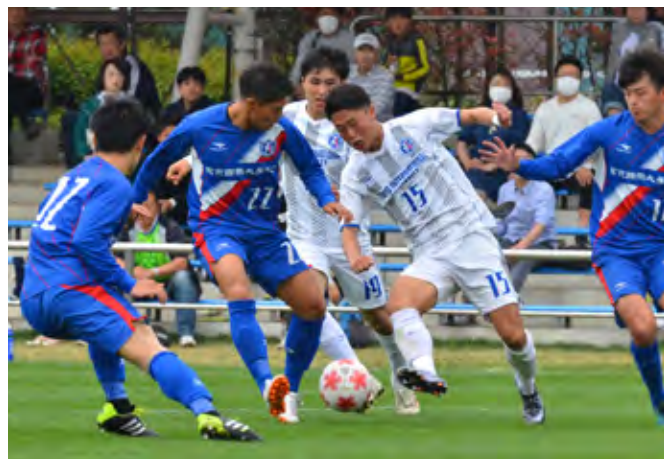
●今年の「彩の国カップ」の決勝戦は、初の埼玉スタジアム
～「2019年度彩の国カップ第24回埼玉県サッカー選手権大会」～

3月24日から始まった「2019年度彩の国カップ 第24回埼玉県サッカー選手権大会」は4月21日に準決勝が行われ、決勝進出の2チームが決まりました。試合会場は初の埼玉スタジアムのメインピッチです。ぜひ、ご声援ください。

【決勝】 2019年5月11日(土) 13:00～

会場:埼玉スタジアム2002 ※入場無料

東京国際大学FC 対 東京国際大学体育会サッカー部



準決勝 東京国際大学FC vs 東京国際大学



準決勝 東京国際大学体育会サッカー部 vs 城西大学

●「JFAレディース／ガールズサッカーフェスティバル 2019 in 埼玉スタジアム」開催

3月17日、埼玉スタジアム第3グラウンドにて、「JFAレディース／ガールズサッカーフェスティバル2019 in 埼玉スタジアム」が開催されました。

今回は、元浦和レッズレディースのFWで、現在はなでしこリーグ2部「オルカ鴨川」のGMである北本綾子インストラクターの下、ウォーミングアップからフルピッチでのゲームまでたっぷり3時間というメニューでした。

参加したのは淑徳与野高校サッカー部と県立川越南高校女子サッカー部の皆さん34名。天候にも恵まれ、パスワークを中心に学びの多いクリニックになったと思います。お疲れ様でした。



●熱中症にご注意ください

急激に暑くなってきました。選手の皆さんは各自で体調管理はもちろん、試合当日の熱中症対策もしっかりお願いします。また、大会主催者におかれましては、下記のガイドラインに沿ってご対応ください。

※熱中症対策ガイドライン（リンク先は JFA 公式サイトです）

→ http://www.jfa.jp/documents/pdf/other/heatstroke_guideline.pdf

※熱中症対策ガイドラインについて FAQ（リンク先は JFA 公式サイトです）

→ http://www.jfa.jp/documents/pdf/other/heatstroke_faq.pdf編集
後記

8年前、旧・騎西高校で避難生活をされていた福島県双葉町の皆様へ、SFAがサッカーボールをお届けしました。まだ肌寒い初春の時期。当日は雨が冷たく、駐車場となっていた校庭は運ぶ足の自由がきかないほどぬかるんでいました。避難所は雑然としている中、真新しいボールが何かのきっかけになればいいな、と感じたことを思い出します。

月日は流れ、そのときの校庭が人工芝のピッチに生まれ変わりました。さまざまな人々の想いが繋がっているのだと思います。ここを拠点に、夢を大きくふくらませてください。（藤田）